

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		杉並芸術会館建設					整理番号	85	枝番号				
担当部課名	区民生活部管理課	コード	050101	連絡先 電話番号	3755	昨年度 整理番号	88	昨年度 枝番号					
係名 施設計画担当		上位施策名					No						
予算事業名 杉並芸術会館建設		コード	12750	文化・芸術活動の基盤整備					66				
事務事業の概要	事業開始年度	○昭和 ●平成		15年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 分野		政策番号	(4)	施策番号		事業コード	2
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業		根拠法令等					
	対象	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他				(1) 杉並区立杉並芸術会館条例							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	旧高円寺会館の解体工事(18年度) 杉並芸術会館の建築工事(18~20年度)				(2)							
	活動指標名(式)	(1)				(3)							
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)						事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)							
活動指標名(式)						優れた舞台芸術の創造と発信など芸術文化の普及振興を図るため、また区民の文化・芸術活動の場として、条例の目的を達成するための機能を確保した施設を建設する。							
活動指標名(式)						成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標							
活動指標名(式)						(1) 工事の進捗率							
活動指標名(式)						(2)							
区分	単位	16年度実績		17年度		18年度		19年度計画	目標値 22年度	目標値に対する18年度 の達成率%			
		計画	実績	計画	実績	計画	実績						
指標	活動指標(1)												
	活動指標(2)												
	成果指標(1)	%				13	4	40					
	成果指標(2)												
総事業費・コスト把握	事業費	千円	440	80,663	75,949	743,228	713,581	670,755	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)				
	(内) 投資的経費等	千円				743,228	713,581	670,755					
	(内) 委託費	千円		74,804	74,592	743,228	713,581	670,755					
	職員数(常勤   非常勤)	人	0.30		0.35		0.45		0.30	0.23	0.20		
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	2,730	3,171	4,077	2,718	2,084	1,812	16年度...改築設計者 選定委員会経費計上。 17年度...主な経費として、 改築基本設計及び 実施設計費計上。 18年度...旧高円寺会館 解体工事経費、杉並 芸術会館建設経費(工事 費前払金及び工事 監理費)計上。実績は 19年度繰越額を含む。 19年度...杉並芸術会館 の建設経費(工事費 19年度出来高分及び 工事監理費)計上。 18~20年度建設費 総額(千円) 建築工事 2,768,000 工事監理委託 63,551 計 2,831,551			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0	0				
	総事業費 ++	千円	3,170	83,834	80,026	745,946	715,665	672,567					
	単位あたりコスト( - )÷	円											
	財源	受益者負担分	千円										
		国・都等からの支出金	千円										
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0					
差引:一般財源 -		千円	3,170	83,834	80,026	745,946	715,665	672,567					
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
18年度の主な取組み	内 容				規 模		単位	事業費(千円)					
	旧高円寺会館の解体工事				1		件	12,331					
	杉並芸術会館の建築工事				1		件	541,100					
	杉並芸術会館の建築工事監理委託				1		件	6,300					
	その他 ( )							153,850					

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 85 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%		活動指標(2)の 18年度達成率%	18年度予算 執行率%	96.0
		主に、建築工事落札差金の残による。				
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		営繕課と連携し、円滑な建築工事への取組みを行うとともに、施設の設置目的に沿った機能確保の観点から、効果的な建設・整備方法等について指定管理者との検討・協議を進めた。 ・18年度工事費予算...567,610千円(前払金) 旧高円寺会館解体工事を除く。 ・19年度工事費予算...805,540千円(出来高払分)				
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	高円寺会館改築後の施設に劇場機能など芸術文化振興の拠点施設としての機能を盛り込むことにした。施設の建設に関しPFI方式も検討されたが、区が整備することとなった(運営面では指定管理者制度を導入)。				
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	小劇場や高円寺会館の機能を引継ぐホール等を有する新しい芸術文化施設に対しては、地域住民や文化関係者から多くの関心と期待が持たれている。工事期間中の十分な騒音・振動対策について、近隣住民から要望が出されている。				
	今後の予測	舞台芸術や阿波踊りを始め、芸術文化振興の重要な拠点施設として、地域住民に親しまれ、地域の活性化に寄与していくことが予測される。				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由: 芸術文化活動の拠点整備に貢献するとともに、地域の活性化の推進が図られる。				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( ) 成果向上のための方策 その他(具体的内容 )	理由または具体的内容:  理由または具体的内容: 各種工事会議や指定管理者との検討・協議などを通して、施設の機能を最大限に高められるような施工内容に繋げていく。				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容: 施設整備事業において、受益者負担は考えにくい。				
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	理由または具体的内容: 本施設に求められる機能の確保や安全管理に必要な建設経費を精査して算出したため。				
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:	<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者( ^ )	協働等による成果と課題 劇場機能を持つ施設の建築工事と舞台設備工事に実績のある施工業者及び設計業者に、工事の請負及び工事監理を委託することにより、施設の設置目的を達成するための機能の確保に十分な成果をあげている。				
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容 )					

今後の事業のあり方(中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 建築工事は平成20年度に完了するため、該当なし。	
20年度方針	(2) 理由 20年度の建築工事費は、19年度に比較して工事の出来高に応じた支払額が多くなるため(債務負担で定めている。)	

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		杉並芸術会館管理運営						整理番号	86	枝番号		
担当部課名	区民生活部管理課	コード	050101	連絡先電話番号	3755	昨年度整理番号	88	昨年度枝番号				
係名	施設計画担当	上位施策名						No				
予算事業名	杉並芸術会館維持管理	コード	12370	文化・芸術活動の基盤整備						66		
事務事業の概要	事業開始年度	<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成	15 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業	分野	政策番号	(4)	施策番号		事業コード	2
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理			<input type="checkbox"/> 行革計画事業	<input type="checkbox"/> 協働計画事業						
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他	文化・芸術活動を行う区民及び関係団体等		根拠法令等							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	指定管理候補者の選定(17年度からの継続) 協定に基づく指定管理業務(開館までの準備業務)の実施		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 演劇、舞踊等の舞台芸術の創造及び発信並びに区民の文化活動の拠点として、芸術文化の振興を図る。								
	活動指標名(式)	(1) ホール(B・C)の貸出し回数=3時間帯×開館日×2室 (2) 芸術文化普及振興事業の実施延日数		成果指標名(式) (代)=適当な指標がない場合の代替指標 (1) ホール利用率=ホール年間延利用回数÷年間延貸出可能回数×100 芸術文化普及振興事業への参加人数 =公演事業の年間延観客動員数+教育的事業への年間延参加人数								
指標	区分	単位	16年度実績	17年度		18年度		19年度計画	目標値22年度	目標値に対する18年度の達成率%		
	活動指標(1)	回							2,058	0.0		
	活動指標(2)	日							400	0.0		
	成果指標(1)	%							80	0.0		
	成果指標(2)	人							43,000	0.0		
総事業費・コスト把握	事業費	千円	240	126	126	13,166	6,568	34,573	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)			
	(内)投資的経費等	千円										
	(内)委託費	千円				12,431	6,191	30,282				
	職員数(常勤 非常勤)	人	0.20	0.25	0.40	0.80	1.00	0.90	杉並芸術会館は平成20年度に開館するため、活動指標及び成果指標の数値は開館後となる。 17年度...主な経費として、指定管理候補者選定経費を支出。 18年度...主な経費として、指定管理経費を計上。 19年度...主な経費として、指定管理経費及び芸術監督経費を計上。			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	1,820	2,265	3,624	7,248	9,060			8,154	
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			0	
	総事業費 ++	千円	2,060	2,391	3,750	20,414	15,628	42,727				
	単位あたりコスト( - )÷	円										
	財源	受益者負担分	千円									
		国・都等からの支出金	千円									
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0				
差引:一般財源 -		千円	2,060	2,391	3,750	20,414	15,628	42,727				
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
18年度の主な取組み	内 容						規模	単位	事業費(千円)			
	指定管理候補者選定委員会開催						3	回	300			
	指定管理者との協定に基づく指定管理業務(準備業務)						1	件	6,191			
	その他 (意見交換会・住民懇談会開催等)								77			

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 86 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%		活動指標(2)の 18年度達成率%	18年度予算 執行率%	49.9
		指定管理者の指定時期が当初平成18年8月の予定であったが、同年11月に変更となったことに伴い、指定管理料が大幅減となった。				
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		指定管理業務として、芸術文化普及振興事業実施、施設・設備等整備及び運営体制等の検討など、開館に向けた着実な取り組みを行った。また、区が日本劇作家協会及び東京高円寺阿波おどり振興協会とパートナーシップ協定を締結した。 【指定管理料予算】18年度(5か月)...6,607千円 19年度(12か月)...30,282千円				
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	高円寺会館改築後の施設(杉並芸術会館)に、劇場機能など芸術文化振興の拠点施設としての機能を盛り込むことにした。 施設の運営に関しPFI方式も検討されたが、指定管理者制度を導入することになった。				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	小劇場や高円寺会館の機能を引継ぐホール等を有する新しい芸術文化施設に対しては、地域住民や文化関係者から多くの関心と期待が持たれている。 工事期間中の十分な騒音・振動対策について、近隣住民から要望が出されている。				
	今後の予測	舞台芸術や阿波踊りを始め、芸術文化振興の重要な拠点施設として、地域住民に親しまれ、地域の活性化に寄与していくことが予測される。				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由:優れた舞台芸術を中心とした芸術文化の普及振興を図るとともに、区民のさまざまな文化・芸術活動の拠点として、区の芸術文化活動のための基盤の整備に大いに貢献する。				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由 ) 成果向上のための方策	理由または具体的内容:平成21年3月の開館後、指定管理業務について検討を行う。 理由または具体的内容:				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容:現在、施設等の利用料金の検討を行っている。				
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	理由または具体的内容:平成21年3月の開館後、指定管理業務について検討を行う。				
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄		
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体( ^ )	協働等による成果と課題 舞台芸術に知識と経験を有する指定管理者により、効果的な芸術文化普及振興事業や施設運営の準備業務が着実に進められている。				
	(3) 協働等の形態 指定管理者(具体的内容 )					

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 平成21年3月の開館後、指定管理業務について検討を行う。	
20年度方針	(1) 20年度予算見積の方向性	<input checked="" type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 ・平成20年度に杉並芸術会館が開館することに伴い、指定管理料が大幅増となる。 ・備品の整備経費等が必要となる。	

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		郷土博物館運営管理						整理番号	833	枝番号		
担当部課名		教育委員会事務局郷土博物館		コード	601131	連絡先 電話番号	3317-0841	昨年度 整理番号	841	昨年度 枝番号		
係名		上位施策名						No				
予算事業名		郷土博物館運営管理		コード	82340	文化・芸術活動の基盤整備		66				
事務事業の概要	事業開始年度		<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		元 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野		政策番号	施策番号	事業コード	
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理				<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業					
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				根拠法令等					
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）		郷土資料の整理、保管作業を進める。購入や寄贈の受入により、郷土に関する保有資料の充実を図る。郷土に関する研究を進め、成果を一般に報告する。生涯学習への支援、周知、普及に関する活動(学校利用の受入、展示解説や質問、相談への応対等)を図る。				事業の目標（対象をどのような状態にしたいのか）		・ 歴史的・文化的遺産の収集、保存、研究活動により、郷土の文化を守り育てる。			
	活動指標名(式)		(1) 購入資料、寄贈受領点数 (2) 作成報告書数(年報、館報)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標		(1) 収蔵資料総数 (2) (代)報告書作成冊数			
区分		単位	16年度実績		17年度		18年度		19年度計画	目標値 22年度	目標値に対する18年度 の達成率%	
指標	活動指標(1)		点	785	500	860	500	2,514	800			
	活動指標(2)		点	3	3	3	3	3	3			
	成果指標(1)		点	121,470	121,970	122,330	122,820	124,844	125,644			
	成果指標(2)		部	8,800	8,800	8,800	8,800	8,800	8,800			
総事業費・コスト把握	事業費		千円	5,018	5,020	5,330	6,113	6,138	5,345	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)		
	(内) 投資的経費等		千円	0	0	0	0	0	0			
	(内) 委託費		千円	0	0	0	0	0	0			
	職員数(常勤   非常勤)		人	1.34   1.00	1.25   1.40	1.35   1.60	1.35   1.60	1.64   1.42	1.64   2.64	・平成19年4月分館開館に伴い、18年度に分館の備品、消耗品等の補正予算を計上。19年度より非常勤・パート職員が配置された。 ・平成18年度の資料寄贈点数が例年より多かった。		
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	12,194	11,325	12,231	12,231	14,858	14,858			
		非常勤職員分	千円	2,880	4,046	4,624	4,528	4,019	7,471			
	総事業費 ++		千円	20,092	20,391	22,185	22,872	25,015	27,674			
	単位あたりコスト( - )÷		円	25,595	40,782	25,797	45,744	9,950	34,593			
	財源	受益者負担分		千円	1,186	1,264	1,049	1,196	1,241			1,249
		国・都等からの支出金		千円								
特定財源計 +		千円	1,186	1,264	1,049	1,196	1,241	1,249				
差引: 一般財源 -		千円	18,906	19,127	21,136	21,676	23,774	26,425				
受益者負担比率 ÷		%	5.9	6.2	4.7	5.2	5.0	4.5				
18年度の主な取組み		内 容						規模	単位	事業費(千円)		
		博物館運営管理(郷土資料購入、「年報」等印刷等)						1	式	6,138		
		その他 ( )								0		

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 833 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	502.8	活動指標(2)の 18年度達成率%	100.0	18年度予算 執行率%	100.4
		節減に努力し、有効な運営管理が実施された。					
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		<ul style="list-style-type: none"> <li>19年4月に郷土博物館の分館を天沼弁天池公園内に開館した。区民参加による身近で親しまれる新しい博物館活動を展開していく予定。</li> <li>年報、館報等の成果物では、着実に資料の充実が図られている。</li> </ul>					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>開催展示内容に沿った資料が多く寄贈され、一般の寄贈と購入資料をあわせて、年々資料の充実が図られている。</li> <li>館報として炉辺閑話を年2回、年報紀要を年1回発行している。</li> <li>中学生の職業体験、教職員の研修等、学校利用が増加している。</li> </ul>					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	特に寄せられていない。					
	今後の予測	今後も資料の収集を進め、あわせて研究活動、適切な保存を図っていく。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由：郷土に関する資料の収集・研究は、区民が地域の文化を考えるきっかけとなる。また、地域の歴史や文化を学ぶ身近なとして、区内小中学校の社会科見学を中心に利用されている。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( ) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容 )	理由または具体的内容： 理由または具体的内容：学校との連携をより深めることにより、よりスムーズで細やかな学習支援が可能となる。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容：地域博物館設立の趣旨からすれば、学校の授業において利用料を無料としているのは当然のことである。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	理由または具体的内容：印刷費、臨時雇用人員などは、必要最低限の水準であり、これ以上の削減は見込めない。事業内容の充実を図るならば、むしろ増加の可能性がある。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 実現していない(実現は困難)(具体的内容 )	協働等の今後のあり方：		<input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input checked="" type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手	協働等による成果と課題					
	(3) 協働等の形態	歴史的・文化的価値の高い 資料を継続的に、適切に収集・調査・研究・整理・保存を図っていくためには、行政自ら責任を持って実施すべきである。					

今後の事業のあり方 (中長期)	成果： <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト： <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 ・「郷土博物館の運営のあり方検討会」の報告書「今後の杉並区立郷土博物館の運営について」を受けて、今後の博物館の改革案について検討する。 ・学校、指導室等と連絡を密に取り、教育支援システムを構築していく。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 ・各学校間で博物館に対する対応にも違いがある。教員研修の積極的受け入れ、指導室との協議を進める。	
20年度方針	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減な <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	同様、同規模の事業を継続していく。

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		郷土博物館維持管理					整理番号	834	枝番号							
担当部課名		教育委員会事務局郷土博物館		コード	601131	連絡先 電話番号	3317-0841	昨年度 整理番号	842	昨年度 枝番号						
係名				上位施策名				No								
予算事業名				郷土博物館維持管理		コード	82900	文化・芸術活動の基盤整備		66						
事務事業の概要	事業開始年度			○昭和 ●平成		元	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業								
	事業の種類			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等										
	対象			<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 一般区民		(1) 博物館法 (2) 杉並区立郷土博物館条例 (3) 杉並区立郷土博物館条例施行規則										
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)			本館、西田小学校展示室、松ノ木遺跡、館外収蔵庫5か所の維持管理												
	活動指標名(式)			事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 利用者へ安全快適な施設環境を提供する。 文化遺産を適切な状態で保存・活用し、郷土の文化を 守り育てる。 区民の郷土意識を高め、歴史文化認識を深める。												
			(1) 開館日数		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 入館者数 (2) アンケート結果(満足を1、普通を2、不満を-1とした平均点)											
区分		単位	16年度 実績		17年度		18年度		19年度 計画		目標値 22年度	目標値に対 する18年度 の達成率%				
					計画	実績	計画	実績								
指標	活動指標(1)		日	293		293	295	295	295							
	活動指標(2)															
	成果指標(1)		人	12,891		13,000	11,863	13,000	14,756	25,000						
	成果指標(2)		点	1		1	1	1	1	1						
総事業費・コスト把握	事業費		千円	26,945		30,249	28,465	51,220	50,648	37,354		特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)  ・平成19年度は、分館 開設に伴う維持管理費 を計上している。 ・平成19年度は、本館 の入館者増加と分館開 設に伴う分館の入館者 数を計上している。				
	(内) 投資的経費等		千円													
	(内) 委託費		千円	17,363		18,126	17,768	18,634	16,351	21,743						
	職員数(常勤   非常勤)		人	1.07	0.00	1.00	0.00	1.10	0.00	1.10	0.00		1.32	0.00	1.32	1.22
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	9,737		9,060	9,966	9,966	11,959	11,959					
		非常勤職員分		千円	0		0	0	0	0	3,453					
	総事業費 + +		千円	36,682		39,309	38,431	61,186	62,607	52,766						
	単位あたりコスト( - )÷		円	125,195		134,160	130,275	207,410	212,227	178,868						
	財源	受益者負担分		千円	36		41	33	41	33	41					
		国・都等からの支出金		千円												
特定財源計 +		千円	36		41	33	41	33	41							
差引: 一般財源 -		千円	36,646		39,268	38,398	61,145	62,574	52,725							
受益者負担比率 ÷		%	0.1		0.1	0.1	0.1	0.1	0.1							
18年度の主な取組み			内 容					規模	単位	事業費(千円)						
			施設維持管理(光熱水費、維持管理経費、施設整備等)					1	式	30,542						
			博物館分館開館準備(備品購入費、図書資料購入費等)					1	式	20,106						
			その他 ( )							0						

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 834 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	100.0	活動指標(2)の 18年度達成率%	18年度予算 執行率%	98.9
		<ul style="list-style-type: none"> <li>節電など経費の削減を図っているが、施設全体に老朽化が進んでいる。</li> <li>予算の範囲内で適切な維持管理が行なわれた。</li> </ul>				
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		<ul style="list-style-type: none"> <li>18年度に、ガラス飛散事故防止フィルム貼付工事、及び新たに小学校空き教室1ヶ所を収蔵庫として使用するために整備を行なった。</li> <li>区が公園用地として取得した天沼3丁目23番地内に残存する建築物を博物館分館として保全・活用を図ることとなり、分館運営準備経費について11月補正予算を計上し、執行した。(平成19年4月7日開館)</li> </ul>				
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	館外収蔵庫は、区内空き教室を6か所利用。資料保存には不向きな劣悪環境。校舎建替えなどにより、たびたび移動をせまられている(平成11年、14年、16年、17年)。本館の用地は都からの有償賃借であったが、平成13年度より賃借料は無償となった。				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	予算が削減されるなか、植栽の手入れをすべて行うことは難しいが、住宅街に位置していることもあり、敷地境界の手入れなどについては、要望がたびたび寄せられている。				
	今後の予測	開館より17年が経過し、施設全体に老朽化が見られる。常設展示室については、大掛かりな手直しの必要な時期に来ている。古民家、長屋門については、文化財であるため、その維持管理には専門家からのアドバイスを受ける必要がある。				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由: 館の存在は、文化・芸術活動の基盤整備そのものである。				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる( ^ )	理由または具体的内容:				
	成果向上のための方策 その他(具体的内容 )	理由または具体的内容: 19年4月より分館が開館し、新たな博物館活動を展開する。				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容: 公立博物館は無料が原則であるが、財政的な問題と受益者負担の考え方から、開館時より観覧料を徴収している。平成12年より中学生以下を無料にした。				
(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	理由または具体的内容: 建物の老朽化に伴い、修繕費がかさむのはやむをえない。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:		<input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄		
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者( ^ )	協働等による成果と課題				
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容 )	<ul style="list-style-type: none"> <li>維持管理業務の多くを委託している。</li> <li>植栽維持管理、消防設備保守点検、機械警備、電気工作物保守点検、展示室模型清掃、昇降機設備保守点検、自動ドア保守点検、印刷機保守点検、電話設備保守点検、収蔵庫燻蒸、清掃業務、古民家維持作業、機械設備保守点検等。</li> </ul>				

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)    事業のあり方点検欄を踏まえて記入 経年劣化は避けられず、年々大型の修繕が必要になると見込まれる。また、館外収蔵庫については移転のたびに多額の費用がかかるうえ、資料保存に適した環境ではない。恒常的に貴重な資料の管理、保存を行える収蔵庫を設ける必要がある。	
20年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 ・ 収蔵庫建設には、多額の財政負担が必要。学校校舎の建替えにあわせて、自然空調を取り入れるような建設を計画するなどの工夫が考えられる。	
	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減な <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
(2) 理由 館のみならず、附属施設も含めた管理・修繕の計画を立てる。		

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		運営協議会				整理番号	835	枝番号								
担当部課名		教育委員会事務局郷土博物館		コード	601131	連絡先電話番号	3317-0841	昨年度整理番号	843							
係名		上位施策名						No								
予算事業名		郷土博物館運営管理		コード	82340	文化・芸術活動の基盤整備			66							
事務事業の概要	事業開始年度		○昭和 ●平成 元 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 <input type="checkbox"/> 政策番号 <input type="checkbox"/> 施策番号 <input type="checkbox"/> 事業コード											
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業											
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 運営協議会委員11名		根拠法令等 (1) 博物館法 (2) 杉並区立郷土博物館条例 (3) 杉並区立郷土博物館条例施行規則											
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		学識経験者等11名の委員からなる運営協議会を開催し、郷土博物館の運営に関する事項等を審議する。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 学識者の立場から、博物館学習の充実を図るための提言を館長に対し行う。											
	活動指標名(式)		(1) 会議開催数 (2)		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 提言件数 (2)											
指標		区分	単位	16年度実績		17年度		18年度		19年度計画	目標値22年度	目標値に対する18年度の達成率%				
					計画	実績	計画	実績								
		活動指標(1)		4		4		4		4						
		活動指標(2)														
		成果指標(1)		11		11		11		11						
		成果指標(2)														
総事業費・コスト把握	事業費		千円	468		498		426		498	380	498	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)			
	(内) 投資的経費等		千円													
	(内) 委託費		千円													
	職員数(常勤   非常勤)		人	0.27	0.00	0.25	0.00	0.25	0.00	0.25	0.00	0.33		0.00	0.33	0.00
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	2,457		2,265		2,265		2,265	2,990	2,990				
		非常勤職員分	千円	0		0		0		0	0	0				
	総事業費 ++		千円	2,925		2,763		2,691		2,763	3,370	3,488				
	単位あたりコスト( - )÷		円	731,250		690,750		672,750		690,750	842,500	872,000				
	財源	受益者負担分		千円												
		国・都等からの支出金		千円												
特定財源計 +		千円	0		0		0		0	0	0					
差引:一般財源 -		千円	2,925		2,763		2,691		2,763	3,370	3,488					
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0		0.0	0.0	0.0					
18年度の主な取組み		内 容						規模	単位	事業費(千円)						
		運営協議会委員11名						4	回	380						
		その他 ( )								0						

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 835 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	100.0	活動指標(2)の 18年度達成率%		18年度予算 執行率%	76.3
		委員は11名、開催予定数は4回だが、各回、欠席者があるために上記執行率となっている。					
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		ここ3ヵ年でも、「これからの杉並区立郷土博物館のあり方について(意見)」、「進化する郷土博物館のあり方について」、「杉並区立郷土博物館基本計画改定に関する意見」など、郷土博物館の運営に関する多くの意見、提言を行なっている。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	平成元年の開館と同時に運営協議会を設置している。委員数は平成元年12名、平成8年より11名となっている。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	特に寄せられていない。					
	今後の予測	今後も年4回程度の開催を予定している。館の運営に関し、有益な提言が期待される。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由 )	理由： 間接的ながらも、提言をとおして文化芸術活動の基盤整備に貢献している。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる( ^ )	理由または具体的内容：					
	成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容 )	理由または具体的内容： 年4回の限られた開催の中で有益な提言をまとめていただくためには、各回テーマを絞って討議する等の工夫が必要である。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容： 協議会の存在は館運営には有益である。協議会の活動は館長の諮問機関であり、受益者の概念にはあたらない。					
(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	理由または具体的内容： 報酬額単価はここ10年ほど増減なく、通信費などの必要経費も最低限に抑えられている。						
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している( ^ )	協働等の今後のあり方：	<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄				
	(2) 協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体( ^ )	協働等による成果と課題 協議会委員は学識経験者であり、識者の視点、立場から郷土博物館のあるべき姿について提言をいただいている。					
	(3) 協働等の形態 協働[実行委員会・協議会](具体的内容 )						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果： <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト： <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 運営協議会から意見や提言を受け、これからの博物館に対する理念を実現し、また実現に向けて努めてきた。博物館の基本構想の改正に向けて、重要な審議が予定されている。	
20年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 特にない。	
	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減な <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
(2) 理由 運営協議会は館長の諮問機関として重要な存在であり、必要経費も最低限に抑えられている。 運営協議会は館長の諮問機関として重要な存在であり、必要経費も最低限に抑えられている。		